



第二次山陽小野田市総合計画及び 地域福祉計画の策定に向けた市民アンケート

調査のお願い

平素から市政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

山陽小野田市では、現在、新しい総合計画である「第二次山陽小野田市総合計画」の策定に向けて準備を進めており、計画の参考とするため、市民の皆様にはアンケート調査を行うこととしました。

この調査は、総合計画の推進やまちづくりを進めていく上での市民意識を把握するために行うもので、市民の皆様が日頃感じておられることをお聞きすることで、今後のまちづくりに生かしたいと考えています。

調査は、市内在住の18歳以上の方3,500人を対象に無記名回答方式で行い、集計結果について個人に関する情報が公表されることは一切ありません。

また、このたびのアンケートは、同じく策定予定の「山陽小野田市地域福祉計画」に関するアンケートも同時に行います。アンケート項目が多くなり、誠に恐縮ですが、調査の趣旨を御理解の上御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成28年2月

山陽小野田市

御記入に当たってのお願い

- ・この調査に、封筒の宛名の方が答えられない場合は、御家族の方がお答えください。
- ・回答は設問ごとの指示に従い、別紙回答票に御記入ください。
- ・設問によって回答の数が異なりますので、御注意ください。
- ・回答票(総合計画、地域福祉計画)2枚を同封している返信用の封筒に入れ、3月10日(木)までに投函してください。
- ・御不明な点がありましたら、企画課までお問合せください。

総合計画とは

総合計画は、市町村が総合的かつ計画的な行政運営のために策定するもので、それぞれの市町村における様々な計画の最上位の計画になります。

第一次山陽小野田市総合計画は、社会経済情勢の変化に対応するとともに、市民にとって住み良い地域づくりを進めるため、地域の個性や地域資源を重視したまちづくりの指針となるものとして、平成20年3月に策定しました。

第一次山陽小野田市総合計画では、平成20年度から平成29年度までの10年間を計画期間とし、山陽小野田市が目指すまちの姿(将来都市像)を「人と出会い 支え合い 自然とふれあう 活力ある住み良さ創造都市」と定めて、各施策に取り組んでいます。

地域福祉計画とは

「地域福祉計画」は、社会福祉法第107条の規定にもとづき、「地域の助け合いによる福祉」(地域福祉)を推進するために、人と人とのつながりを基本として、「顔の見える関係づくり」、「ともに生きる社会づくり」を目指すための「理念」と「仕組み」をつくる計画です。

<問合せ先>

山陽小野田市 総合政策部 企画課
TEL:0836-82-1130(直通) FAX:0836-83-2604
Mail:kikaku@city.sanyo-onoda.lg.jp

3 市政に対する評価と課題

5つのまちづくりのテーマにおける、それぞれの項目（施策や状況）に対する「満足度」について、各設問の指示に従ってお答えください。（それぞれの施策の具体的な取組については、別冊「山陽小野田市総合計画の施策一覧」を参考にしてください。）

問7 「市民が主役のまちづくり」（自治、行財政改革）について、以下に示す「1」～「9」の市が実施している施策・状況に満足していますか。『満足度』を1～6の中から1つ選んで回答票に番号を御記入ください。また特に重要と思われる施策を2つ選んで番号を御記入ください	たい 満足 へん	満足	どちらとも いえない	不満	たい 不満 へん	わからない	重要度
1. 地域コミュニティの振興	1	2	3	4	5	6	
2. 市民活動の活性化	1	2	3	4	5	6	
3. 市民と行政との協働のまちづくり	1	2	3	4	5	6	
4. 人権尊重のまちづくりの推進	1	2	3	4	5	6	
5. 男女共同参画社会の形成	1	2	3	4	5	6	
6. 効率的な行政運営の推進	1	2	3	4	5	6	
7. 電子自治体の推進と行政サービスの向上	1	2	3	4	5	6	
8. 財政運営の健全化	1	2	3	4	5	6	
9. 広域連携の強化	1	2	3	4	5	6	

- ※ 「協働」：協働とは、同じ目的で協力して働くこと。ここでは、自治・まちづくりなどに関して、行政、市民などが協力して行動することを意味しています。
- ※ 電子自治体：情報通信技術（IT）を行政分野に活用することにより、市民や企業の事務負担の軽減や利便性の向上、行政事務の簡素化・合理化などを図り、効率的な自治体を実現しようとするものです。

問8 「暮らしの安心・安全を守るまちづくり」（健康・福祉、防災・防犯）について、以下に示す「10」～「25」の市が実施している施策・状況に満足していますか。『満足度』を1～6の中から1つ選んで回答票に番号を御記入ください。また特に重要と思われる施策を2つ選んで番号を御記入ください	たい 満足 へん	満足	どちらとも いえない	不満	たい 不満 へん	わからない	重要度
10. 次世代育成支援の充実	1	2	3	4	5	6	
11. 仕事と子育ての両立支援	1	2	3	4	5	6	
12. 母子保健対策の充実	1	2	3	4	5	6	
13. 高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5	6	
14. 介護サービスの充実	1	2	3	4	5	6	
15. 障がい者福祉の充実	1	2	3	4	5	6	
16. 地域福祉の充実	1	2	3	4	5	6	
17. 社会保障の充実	1	2	3	4	5	6	
18. 健康づくりの推進	1	2	3	4	5	6	
19. 地域医療の充実	1	2	3	4	5	6	
20. 消防体制の充実	1	2	3	4	5	6	
21. 救急・救助体制の充実	1	2	3	4	5	6	
22. 防災体制の充実	1	2	3	4	5	6	
23. 市域保全の充実	1	2	3	4	5	6	
24. 交通安全と治安の確保	1	2	3	4	5	6	
25. 消費者の保護と意識啓発	1	2	3	4	5	6	



問9 「人が輝く心豊かなまちづくり」(教育・文化)について、以下に示す「26」～「33」の市が実施している施策・状況に満足していますか。『満足度』を1～6の中から1つ選んで回答票に番号を御記入ください。また特に重要と思われる施策を2つ選んで番号を御記入ください	たい 満足 へん	満足	どちらとも いえ ない	不満	たい 不満 へん	わからない	重要度
26. 幼児教育の充実	1	2	3	4	5	6	
27. 義務教育の充実	1	2	3	4	5	6	
28. 高等学校・高等教育機関との連携・活用	1	2	3	4	5	6	
29. 生涯学習推進体制の充実	1	2	3	4	5	6	
30. 青少年の健全育成	1	2	3	4	5	6	
31. 文化財の保護・継承	1	2	3	4	5	6	
32. 芸術文化の振興	1	2	3	4	5	6	
33. スポーツ・レクリエーションの振興	1	2	3	4	5	6	

問10 「にぎわいと活力にみちたまちづくり」(産業振興、都市基盤)について、以下に示す「34」～「48」の市が実施している施策・状況に満足していますか。『満足度』を1～6の中から1つ選んで回答票に番号を御記入ください。また特に重要と思われる施策を2つ選んで番号を御記入ください。	たい 満足 へん	満足	どちらとも いえ ない	不満	たい 不満 へん	わからない	重要度
34. 産学公連携による新産業の創出	1	2	3	4	5	6	
35. 労働環境の向上	1	2	3	4	5	6	
36. 工業の振興	1	2	3	4	5	6	
37. 商業・サービス業の活性化	1	2	3	4	5	6	
38. 農業の振興	1	2	3	4	5	6	
39. 林業の振興	1	2	3	4	5	6	
40. 水産業の振興	1	2	3	4	5	6	
41. 地場流通の推進	1	2	3	4	5	6	
42. 観光・交流の振興	1	2	3	4	5	6	
43. 適正な土地利用の推進	1	2	3	4	5	6	
44. 広域交通体系の整備	1	2	3	4	5	6	
45. 港湾整備の促進	1	2	3	4	5	6	
46. 高度情報化への対応	1	2	3	4	5	6	
47. 国際交流・地域間交流の推進	1	2	3	4	5	6	
48. 定住促進	1	2	3	4	5	6	

問11 「うるおいのある快適なまちづくり」(生活環境、都市基盤)について、以下に示す「49」～「59」の市が実施している施策・状況に満足していますか。『満足度』を1～6の中から1つ選んで回答票に番号を御記入ください。また特に重要と思われる施策を2つ選んで番号を御記入ください	たい 満足 へん	満足	どちらとも いえ ない	不満	たい 不満 へん	わからない	重要度
49. 自然環境保全意識の高揚	1	2	3	4	5	6	
50. 自然環境の保全と適正活用	1	2	3	4	5	6	
51. 良質な居住の確保	1	2	3	4	5	6	
52. 公園・緑地の整備・保全	1	2	3	4	5	6	
53. 上水道の整備	1	2	3	4	5	6	
54. 下水道の整備	1	2	3	4	5	6	
55. 生活交通の充実	1	2	3	4	5	6	
56. 美しいふるさとと景観づくり	1	2	3	4	5	6	
57. 省資源・循環型ライフスタイルへの転換	1	2	3	4	5	6	
58. 環境衛生の向上	1	2	3	4	5	6	
59. 環境保全対策の推進	1	2	3	4	5	6	

※ 「UJターン」：出身地から進学や就職で都会に出た後出身地に戻る(Uターン)、出身地から都会に出た後出身地の近隣地域に戻る(Jターン)、出身地に関係のない住みたい地域に移る(Iターン)。

問12 あなたが次の5つのテーマの中で最も重視するものは何ですか？
《回答票に番号を御記入ください（1つ記入）》

1. 市民が主役のまちづくり
2. 暮らしの安心・安全を守るまちづくり
3. 人が輝く心豊かなまちづくり
4. にぎわいと活力にみちたまちづくり
5. うるおいのある快適なまちづくり

問13 現在取り組まれている山陽小野田市の行財政改革では、何に重点的に取り組むべきだと思いますか？
《回答票に番号を御記入ください（3つまで記入）》

1. 議員・職員や部課の数を減らす
2. 事務を効率化・合理化する
3. 効果のうすれた事業を廃止・縮小する
4. 市民、民間企業やNPOなどの民間活力の活用を進める
5. 市民病院、オートレース事業、土地開発公社など地方公営事業・外かく団体の経営改善や統廃合を進める
6. 職員の意識改革や能力開発を進める
7. 情報公開制度の充実
8. 公共施設の見直し
9. 補助金等の見直し
10. 未利用財産の売却（土地・建物）
11. 使用料・手数料等の受益者負担の適正化
12. 市民参画や市民協働の推進
13. 職員給与の見直し
14. 民間活力の導入・外部委託の推進
15. その他（)

問14 合併後の「山陽小野田市」として一体感が感じられるようになりましたか？
《回答票に番号を御記入ください（1つ記入）》

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. どちらかと言えばそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. わからない | |

4 市政への市民参加について

まちづくりには市民参加が重要であり、市民一人ひとりの取組が、まちを変えていく大きな力にもなります。市民参加についてのあなたのお考えをお答えください。

問15 市政への参加についてどう思われますか？《回答票に番号を御記入ください（1つ記入）》

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. ぜひ参加したい ⇒ 設問16へ | 2. 機会があれば参加したい ⇒ 設問16へ |
| 3. あまり参加したくない ⇒ 設問17へ | 4. 参加したくない ⇒ 設問17へ |
| 5. どちらともいえない | |

問16 設問15で「1」または「2」を選んだ方にお聞きします。あなたは、どのような形で参加したいと思われますか？《回答票に番号を御記入ください（1つ記入）》

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. アンケート調査による意見の提出 | 2. パブリックコメントによる意見の提出 |
| 3. 住民説明会・公聴会への出席 | 4. 公募等による各種委員会・検討会への参加 |
| 5. その他（) | |

※ 「パブリックコメント」：各種行政計画等の案について、広く市民の意見を募集する制度です。

※ 「ワークショップ」：参加者同士がアイデアを出し合い、意見交換を行いながら、提案として取りまとめる意見集約の手法のことです。

問17 設問15で「3」または「4」を選んだ方にお聞きします。あなたは、どのような理由から参加したくないとお考えですか？《回答票に番号を御記入ください（1つ記入）》

1. 施策、事業の内容がよくわからないから
2. 自由に自分の考えや意見が述べられないから
3. 意見や提案をしても市政に反映されないから
4. 意見や提案をしても施策、事業が早急に実施されることが少ないから
5. 市が事業の進み具合等について市民に情報公開していないから
6. 理由は特いない
7. その他（)

問18 市からの情報提供について、不足とを感じるものがありますか？
《回答票に番号を御記入ください（3つまで記入）》

1. 公共施設などの利用方法について
2. 検診などの市民サービスの実施について
3. 市の名所、観光スポット等について
4. 行事、祭、イベントの開催について
5. 生涯学習等、文化的活動について
6. 高齢者障がい者福祉支援サービスについて
7. 子育て支援、教育相談等について
8. 各種ボランティア、市民活動について
9. その他（)

問19 市からの情報は、どのような手段で入手されていますか？
《回答票に番号を御記入ください（2つまで記入）》

1. 広報紙
2. 新聞
3. インターネット（市のホームページ）
4. 出前講座
5. パンフレットやチラシ
6. 回覧文書
7. FM放送
8. その他（)

5 定住促進について

問20 山陽小野田市は住み良いまちですか？《回答票に番号を御記入ください（1つ記入）》

1. 住み良い
2. だいたい住み良い
3. どちらともいえない
4. あまり住み良いとはいえない
5. 住みにくい

問21 今後も、山陽小野田市に住みたいと思いますか？《回答票に番号を御記入ください（1つ記入）》

1. このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす ⇒ 設問22へ
2. 一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす ⇒ 設問22へ
3. 多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う ⇒ 設問23へ
4. わからない

問22 問21で「1」または「2」と回答した方は、山陽小野田市に住みたいと思う理由は何ですか？
《回答票に番号を御記入ください（3つまで記入）》

1. 親・親族がいるから
2. 家や土地があるから
3. 通勤・通学に便利だから
4. 買い物などが便利だから
5. 居住環境が良いから
6. 老後を地元で暮らしたいから
7. 仕事があるから
8. 子育て環境や教育環境が良いから
9. 地域や人に愛着があるから
10. 医療環境が良いから
11. その他（)

問23 問21で「3」と回答した方は、今後市外に住みたいと思う理由は何ですか？
《回答票に番号を御記入ください（3つまで記入）》

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 親・親族がいないから | 2. 家や土地が取得できないから |
| 3. 通勤・通学に便利だから | 4. 買い物などが不便だから |
| 5. 居住環境が悪いから | 6. 老後に不安があるから |
| 7. 仕事がないから | 8. 子育て環境や教育環境が不安だから |
| 9. 地域や人になじめないから | 10. 医療環境に不安があるから |
| 11. その他（ | ） |

問24 若者の定住促進策として、特にどのような施策に力をいれるべきだと思いますか？
《回答票に番号を御記入ください（2つまで記入）》

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 安全・安心な居住環境の整備充実（防災対策等） | 2. 子育て環境の整備充実 |
| 3. 健康で元気に暮らせる環境の整備（医療・福祉等） | 4. 住む場所の確保（空き家対策等） |
| 5. 企業誘致等による働く場の確保 | 6. 転入者増加の促進（UJ1ターンの促進等） |
| 7. 快適な居住環境の整備充実（生活交通等） | 8. 娯楽・レジャー施設の充実 |
| 9.その他（ | ） |

6 今後のまちづくりについて

問25 今後の山陽小野田市のまちづくりについて、御意見がありましたら、回答票に御自由にお書きください

--	--

地域福祉計画に関するアンケート

7 あなた(回答者)自身について

問26 あなたの家族構成はどうか?《回答票に番号を御記入ください(1つ記入)》

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. ひとり暮らし世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 |
| 3. 親と子の2世代世帯 | 4. 親と子と孫の3世代世帯 |
| 7. その他 () | |

問27 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に次のような方はいますか?《回答票に番号を御記入ください(当てはまるもの全て記入)》

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 乳児(1歳未満) | 2. 乳児を除く小学校入学前の幼児 |
| 3. 小学生 | 4. 中学生・高校生 |
| 5. 65歳以上の方 | 6. 介護を必要とする方 |
| 7. 身体・知的・精神などの障がいのある方 | 8. いずれもない |

8 福祉について

問28 福祉への関心はありますか?《回答票に番号を御記入ください(1つ記入)》

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. まったく関心がない |

問29 子ども・高齢者・障がい者にとって暮らしやすいまちだと思えますか?『満足度』を1~6の中から1つ選んで回答票に番号を御記入ください。

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満	わからない
1. 子どもにとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6
2. 高齢者にとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6
3. 障がい者にとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6

9 地域との関わりについて

問30 あなたにとって「地域」とは、どういった範囲のことだと思いますか?あなたの感じに近いものを選んでください《回答票に番号を御記入ください(1つ記入)》

- | | | |
|-------------|----------|---------------|
| 1. となり近所 | 2. 隣組(班) | 3. 町内会・自治会 |
| 4. 大字 | 5. 小学校区 | 6. 中学校区 |
| 7. 合併前の旧2市町 | 8. 市全体 | 9. 宇部・山陽小野田地域 |
| 10. その他 () | | |

問31 あなたは、近所の人とどの程度のお付き合いをしていますか?《回答票に番号を御記入ください(1つ記入)》

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 非常に親しく付き合っている | 2. 親しく付き合っている |
| 3. あいさつをする程度の付き合い | 4. 付き合いは、ほとんどない |

問32 あなたは、町内会・自治会・区等の活動にどの程度参加していますか?《回答票に番号を御記入ください(1つ記入)》

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. よく参加している ⇒ 設問33へ
(週1回程度) | 2. ある程度参加している ⇒ 設問33へ
(月1回程度) |
| 3. あまり参加していない ⇒ 設問34へ
(年2回程度) | 4. ほとんどあるいはまったく参加していない
⇒ 設問34へ |

問33 設問32で「1」または「2」を選んだ方にお聞きします。町内会・自治会・区等の活動に参加している主な理由は何ですか？《回答票に番号を御記入ください（2つまで記入）》

1. 行事や活動の内容に興味や関心があるから
2. 地域団体や町内・自治会・区等の役員になっているから
3. 近所に住む者の義務だから
4. 大勢で活動するのが楽しいから
5. 近所の人や知り合いに誘われるから
6. なんとなく昔からそうだから
7. 参加しないと住みづらくなるから
8. 時間に余裕があるから
9. その他（)
10. わからない

問34 設問32で「3」または「4」を選んだ方にお聞きします。町内会・自治会・区等の活動に参加しない主な理由は何ですか？《回答票に番号を御記入ください（2つまで記入）》

1. 参加したいが、何を、いつ、どこでやっているのかわからないから
2. 参加したいが、病気や障がいなど身体的な理由で参加しづらいから
3. 参加したいが、その場所に行く方法や交通手段がないから
4. 参加したいが、一人で参加するのは心細いから
5. 役員などになっていないから
6. 仕事や家事・介護・育児など、他にやることがあって忙しいから
7. 行事や活動の内容に興味や関心がなく、参加したいと思わないから
8. 自分の趣味や余暇活動を優先したいから
9. 付き合いがわずらわしいから
10. その他（)
11. わからない

問35 あなた、あるいは御家族は現在、日々の生活において、主にどのような悩みや不安を感じていますか？《回答票に番号を御記入ください（2つまで記入）》

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 自分や家族の健康のこと | 2. 自分や家族の老後のこと |
| 3. 生きがいに関すること | 4. 子育てに関すること |
| 5. 介護の問題 | 6. 経済的な問題 |
| 7. 隣近所との関係 | 8. 住宅のこと |
| 9. 地域の治安のこと | 10. 災害時の備えに関すること |
| 11. 人権問題に関すること | |
| 12. その他（) | |
| 13. 悩みや不安はない | |

問36 悩みや不安について、誰に、もしくはどこに相談していますか？
《回答票に番号を御記入ください（当てはまるもの全て記入）》

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 近所の人、友人・知人 |
| 3. 職場の上司や同僚 | 4. 市の相談窓口や職員 |
| 5. 民生委員・児童委員 | 6. 人権擁護委員 |
| 7. 自治会などの役員 | 8. 社会福祉協議会の窓口や職員 |
| 9. 保健所の窓口や職員 | 10. 地域包括支援センター・介護支援専門員（ケアマネージャー） |
| 11. 福祉サービスの事業所やその職員 | 12. 医療機関（医師・看護師等）や薬局 |
| 13. NPOやその他の民間団体 | 14. ボランティア |
| 15. その他（) | |
| 16. どこに相談してよいかわからない | 17. 相談できる人や場所がない |

問37 あなたの居住地区における暮らしの満足度についてお聞きします。以下に示す「1」～「10」の内容に満足していますか。『満足度』を1～6の中から1つ選んで回答票に番号を御記入ください。	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満	わからない
1. 買い物などの便利さ	1	2	3	4	5	6
2. 近隣の生活マナー	1	2	3	4	5	6
3. 公園や緑地などの自然環境	1	2	3	4	5	6
4. 地域の雰囲気やイメージ	1	2	3	4	5	6
5. 通路や交通機関等の使いやすさ	1	2	3	4	5	6
6. 地域の防災体制	1	2	3	4	5	6
7. 公的な手続きの便利さ	1	2	3	4	5	6
8. 病院など医療関係施設	1	2	3	4	5	6
9. 公民館活動などの文化教養活動	1	2	3	4	5	6
10. 福祉・保健サービスや相談体制	1	2	3	4	5	6

問38 居住地区が最優先で取り組むべき課題や問題は何だと思いますか？
 ≪回答票に番号を御記入ください(2つまでに○)≫

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 緊急事態が起きたときの対応 | 2. 防犯や防災など地域の安全を守ること |
| 3. 高齢者の社会参加や生きがいづくり | 4. 高齢者世帯の生活支援 |
| 5. 地域内における決まりごと(ルール)の徹底 | 6. 青少年の健全育成 |
| 7. 障がいのある人への生活支援 | 8. 生活習慣病予防など健康づくりへの取組 |
| 9. 共働き家庭の子育て | 10. 障がいのある人の社会参加や生きがいづくり |
| 11. 母子家庭や父子家庭の子育て支援 | 12. 乳幼児期の子育て支援 |
| 13. 子どもや高齢者、障がいのある人などへの虐待対策 | 14. 認知症対策 |
| 15. 特にない | |
| 16. その他() | |

問39 問38で取り組むべき課題や問題を解決または実践するために必要なことは何だと思いますか？
 ≪回答票に番号を御記入ください(当てはまるもの全て記入)≫

問38の番号	解決または実践するために必要と思うこと

問40 あなたが周辺での孤独死や児童虐待などに遭遇した時に、まず、どのようにすべきだと思いますか？
 ≪回答票に番号を御記入ください(2つまでに○)≫

1. 警察・交番に連絡する
2. 市役所・地域包括支援センター・家庭児童相談室へ連絡する
3. 近隣の人に連絡する
4. 民生児童委員に連絡する
5. 自治会役員に連絡する
6. 社会福祉協議会に連絡する
7. 直接訪問する
8. 特に何もしない
9. わからない
10. その他()

問41 隣近所に、介護や、子育てで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか？《回答票に番号を御記入ください（当てはまるもの全て記入）》

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 見守りや安否確認の声かけ | 2. お年寄りの話し相手 |
| 3. 買い物の手伝い | 4. 家事の手伝い等 |
| 5. ごみ出し | 6. 緊急時の手助け |
| 7. 通院などの外出の手伝い | 8. 短時間の子どもの預かり |
| 9. 子どもの送り迎え | 10. 子どもの通学路の見守り |
| 11. 災害時の手助け | 12. 悩み事の相談相手 |
| 13. その他（ | ） |
| 14. 特にない | |

10 ボランティア活動や福祉教育について

問42 あなたは、今までにどのようなNPOやボランティア活動に参加したことがありますか？
《回答票に番号を御記入ください（当てはまるもの全て記入）》

1. 高齢者に関する活動（高齢者の見守り活動・趣味のクラブ活動への協力・老人施設訪問等）
2. 障がいのある人に関する活動（手話や音読・点字訳による支援や外出支援、施設訪問等）
3. 子育てに関する活動（託児・子育て相談や子育てサークル支援等）
4. 保健に関する活動（健康教室等の支援、献血ボランティアとしての活動等）
5. 青少年に関する活動（悩み相談や交流、子ども会活動の支援等）
6. 環境美化に関する活動（自然愛護や美化活動、リサイクル運動等）
7. 福祉のまちづくりに関する活動（地区社協活動・車椅子による点検活動、福祉マップづくり等）
8. 人権が尊重されるまちづくりに関する活動
9. 国際交流に関する活動
10. 災害時の救援などに関する活動
11. 地域の行事のお手伝い
12. その他（
13. 参加した経験はない

問43 あなたは、今後、どのようなNPOやボランティアに参加したいですか？
《回答票に番号を御記入ください（当てはまるもの全て記入）》

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 高齢者に関する活動 | 2. 障がいのある人に関する活動 |
| 3. 子育てに関する活動 | 4. 保健に関する活動 |
| 5. 青少年に関する活動 | 6. 環境美化に関する活動 |
| 7. 福祉のまちづくりに関する活動 | 8. 人権が尊重されるまちづくりに関する活動 |
| 9. 国際交流に関する活動 | 10. 災害時の救援などに関する活動 |
| 11. 地域の行事のお手伝い | |
| 12. その他（ | ） |
| 13. 参加したい活動はない | |

問44 どのような条件が整えばNPOやボランティア活動に参加しやすくなると思いますか？
《回答票に番号を御記入ください（2つまでに○）》

1. 自分にあった時間や内容の活動があれば参加してみたい
2. 自分の仕事や特技を生かせることがあれば参加してみたい
3. 活動資金の援助、援助の充実がなされるのであれば参加してみたい
4. 平日夜間や休日のボランティア講座を受けてから参加してみたい
5. 友人や家族と一緒に活動できるのであれば参加してみたい
6. 家族や職場の理解が得られれば参加してみたい
7. 自分の所属する学校や職場の活動であれば参加してみたい
8. ボランティアグループに入れるのであれば参加してみたい

※裏面にも選択項目あり

9. 身近な団体や活動内容に関する情報があれば参加してみたい
10. 活動の参加によるメリット（進学や就職に有利、若干でも報酬がある等）があれば参加してみたい
11. その他（ ）
12. どんな条件が整っても興味もなく、参加してみたいとは思わない

問45 子どもたちに対する福祉教育（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育）について、どのように行うべきだと思いますか？《回答票に番号を御記入ください（1つ記入）》

1. 学校教育の中で学ぶ
2. 家庭の中で親から学ぶ
3. 地域の活動などを通じて学ぶ
4. 生活していく中で自然に身につく
5. 特に必要ない
6. その他（ ）
7. わからない

11 福祉サービスに対する意識について

問46 あなたご自身やあなたの家族に福祉サービスが必要になったとき、すぐにサービスを利用しますか？《回答票に番号を御記入ください（1つ記入）》

1. 利用したい
2. 利用したくない
3. わからない

問47 もし、あなたの家族のどなたかに介護が必要になった場合に、あなたはどのようにしたいとお考えですか？《回答票に番号を御記入ください（1つ記入）》

1. 家族だけで介護をする
2. 家族が中心となって介護をするが、足りないところは福祉サービスを利用する
3. 積極的に福祉サービスを利用して在宅で介護をする
4. できれば福祉施設で介護してもらいたい
5. できれば医療機関に入院して看てもらいたい
6. その他（ ）
7. わからない

問48 多くの福祉サービスは、利用者が自由にサービスを選んで利用できるようになりました。利用者が自分に最適のサービスを安心して利用するためには、市では今後どのようなことに取り組む必要があると思いますか？《回答票に番号を御記入ください（2つまで記入）》

1. 福祉サービスに関する情報提供を充実する
2. 適切な相談対応やサービスの選択の支援ができる体制を整える
3. サービスに関する苦情や事業者とのトラブル解決の支援体制を整える
4. サービスの内容を評価する仕組みを整える
5. 行政やサービス事業者の情報公開を進める
6. 市民が福祉にかかわる法律や制度を学習できる機会を増やす
7. サービス利用者の権利を保護する仕組みを作る
8. その他（ ）
9. わからない

問49 福祉サービスに関する情報はどこから入手していますか？《回答票に番号を御記入ください（当てはまるもの全て記入）》

1. 家族・親戚
2. 近所の人、友人・知人
3. 民生委員・児童委員
4. 学校や職場
5. 市の広報紙（さんようおのだ）やパンフレット
6. 市のホームページ
7. 市役所、支所、出張所の窓口（保健センター含む）
8. 社会福祉協議会の窓口や広報・パンフレット
9. 地域包括支援センター・介護支援専門員（ケアマネージャー）
10. 福祉サービスの事業所またはその職員

- 1 1. 保健所
- 1 3. NPOやその他の民間団体
- 1 5. 市のホームページ以外のインターネットサイト
- 1 6. その他（
- 1 7. 特にな

- 1 2. 医療機関（医師・看護師等）や薬局
- 1 4. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等

12 民生委員・児童委員や社会福祉協議会について

問50 民生委員・児童委員は、社会福祉の精神をもって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会を目指して、さまざまな活動を行っています。民生委員・児童委員が行う活動として、御存じの内容を選んでください（回答票に番号を御記入ください（当てはまるもの全て記入））

- 1. 日常生活の悩みや心配ごとの相談
- 2. 福祉に関する情報の提供
- 3. 高齢者など支援が必要な人への訪問
- 4. こどもに関する相談
- 5. 関係行政機関の依頼による事実確認
- 6. いずれも知らない

問51 あなたがお住まいの区域の担当民生委員・児童委員を御存知ですか？
（回答票に番号を御記入ください（1つ記入））

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問52 市には、地域福祉を推進し、社会福祉への住民参加を促し意識の高揚を図るための諸活動を行う「山陽小野田市社会福祉協議会」があります。あなたはこの組織を御存知ですか？
（回答票に番号を御記入ください（1つ記入））

- 1. 名前も活動の内容も知っている
- 2. 名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない
- 3. 名前も活動の内容もよく知らない

問53 あなたは、社会福祉協議会にどのようなことを期待しますか？
（回答票に番号を御記入ください（2つまで記入））

- 1. 訪問介護等の介護保険サービス・自立支援サービスの充実
- 2. 介護保険や自立支援給付制度以外の在宅福祉サービスの充実
- 3. 児童福祉サービス、子育て支援の充実
- 4. 児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育、ボランティア活動等の充実
- 5. 福祉に関する情報提供の充実（インターネット等を含む）
- 6. 近隣同士の助け合いの仕組みづくりとその充実
- 7. NPO活動や市民活動への支援
- 8. 福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施
- 9. 福祉に関する相談や苦情の受付
- 10. 福祉団体への支援や育成
- 1 1. 地域福祉権利擁護事業（一人暮らしの認知症の高齢者や知的障がいのある人など、一人で判断することが難しい方に対する金銭管理等のサービスや福祉サービス等利用支援）
- 1 2. 福祉に関する学習や講習、講習会などの開催
- 1 3. その他（
- 1 4. 特に期待することはない



